

# 理英会おすすめ 授業のどうぐ

※授業にお持ちいただく道具を選ぶ際の参考にしてみてください。

※学年は目安です。お子さまの成長に合わせて選んでください。

※お子さまが使ったときにどうか、使いやすさを保護者様が確認してから、選んであげてください。

1歳～2歳学年	3歳学年	年少	年中	年長
---------	------	----	----	----

## ●クレヨン（クレパス）

選ぶポイント：クレヨンの長さ・太さ（握りやすさ）・柔らかさ（折れにくさ）



太くて短いのが特徴。力いっぱい握っても、落としても折れにくくなっています。箱とふたが分かれているので、授業の際にふたを箱の裏に重ねて置いて、机の上の整理整頓がしやすいです。

少し細いものでもしっかり握れるようになってきたらクレパス・パスセル（オイルパスセル）がおすすめ。クレヨンよりも太く、柔らかいため、力を入れても折れにくいのが特徴。筆圧が弱くても、しっかり色がつきます。ペンてるから販売されている太くて柔らかいクレヨンもおすすめです。

筆圧の調整ができるようになったら、クレヨン。細く硬さがあるため、細かい絵が描きやすいのが特徴です。力を入れすぎると折れてしまうので持つ位置や力など注意が必要です。

## ●鉛筆

選ぶポイント：長さ・太さ（握りやすさ）・濃さ（2B以上 ※小学校でも基本的に低学年は2B以上を使用しています）



はじめての鉛筆は、太くて短いものがおすすめ。本体が三角になっているものも三点持ちが自然にできるので正しい書き方を身につけやすいです。

筆圧がついてきたら、一般的な鉛筆にしましょう。受験は、通常の小学生と同じ鉛筆を使用します。使えるようにしていきましょう。

## ●クーピーペンシル

※クーピーペンシルはサクラクレパスの登録商標。他のメーカーでは別の名前なので注意。



種類が少ないので、あまり迷うことはないと思いますが、机の上の整理整頓のしやすさで、缶のケースよりもソフトケースがおすすです。

## ●ハサミ

選ぶポイント：グリップの大きさ・刃の長さ・刃の形状

グリップがお子さまの手にあったものを選んでください。隙間があると力が入れにくくなります。初めは、親指とその他の指を入れる穴の大きさが違うもの、グリップが太いものがおすすです。プラスチックの刃は安全ですが、切りにくい為、はじめから金属性の刃のものがおすすです。



最初は、ハサミの刃も短いものがおすすです。常に切りやすい角度が保たれる刃が曲線になっているものが多い販売されています。ハサミの導入（切れる楽しさを感じる）としておすすします。



ハサミに慣れたら、刃が直線のものを選びましょう。小学校で使用するハサミは刃が直線のものが多いです。曲線の刃と直線の刃では細かいものを切る時の感覚が異なるため、練習しておきましょう。

## ●のり

選ぶポイント：力を入れて糊をぬるか・糊の塗りやすさ・糊の乾きやすさ



はじめは、指で塗るもの（でんぷん糊・フェキのり）がおすすです。量や紙の端を意識しながら使うことができます。



握る力が出てきたら、液状のり。本体を握らないと出てこない為、握力が必要になります。



作業がスムーズになってきたら、スティックタイプののり。汚れにくい反面、乾きが早いのが特徴。色がつくものは塗った箇所が目に見えてわかるのでおすすです。

## ●セロハンテープ

選ぶポイント：セロハンテープの幅・切れやすさ



※セロハンテープはメーカーによって、粘着力や、切れやすさが大きく異なります。必ず保護者様が使って、使いやすいかを確認してから与えてください。



ご家庭で工作用に購入するのには、セロハンテープを切ろうとしたときに子どもの力で押さえて動かないものがおすすです。また、しっかり物と物とめるのに、セロハンテープの幅は15mmか18mmがおすすです。

個人用のセロハンテープは、本体を押さえる手とテープを切る手（左右の手）を同時に使える力が必要です。理英会では、年長対象のコースから使用しています。

※参考画像の為、会社名・メーカー名が出ていますがあくまでも参考となります。